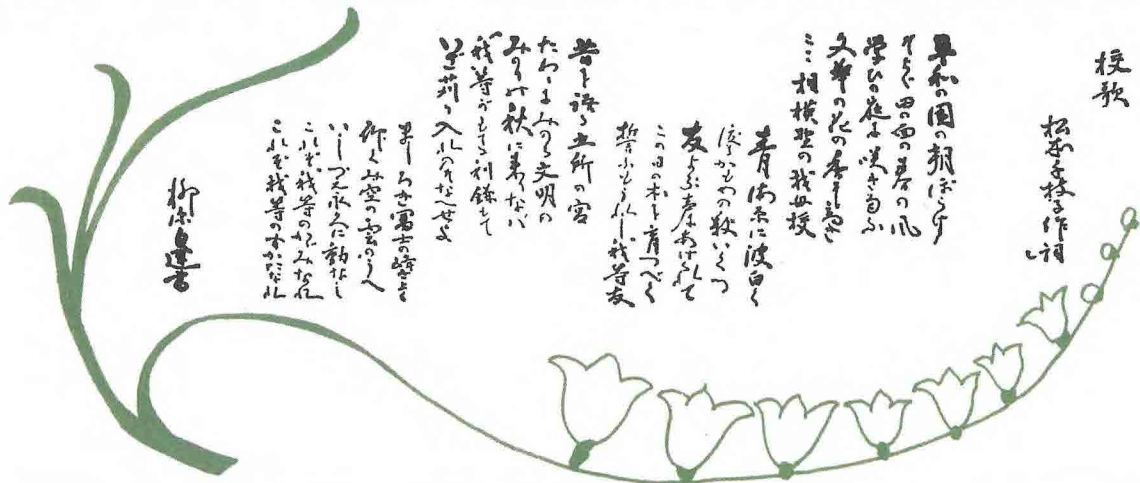
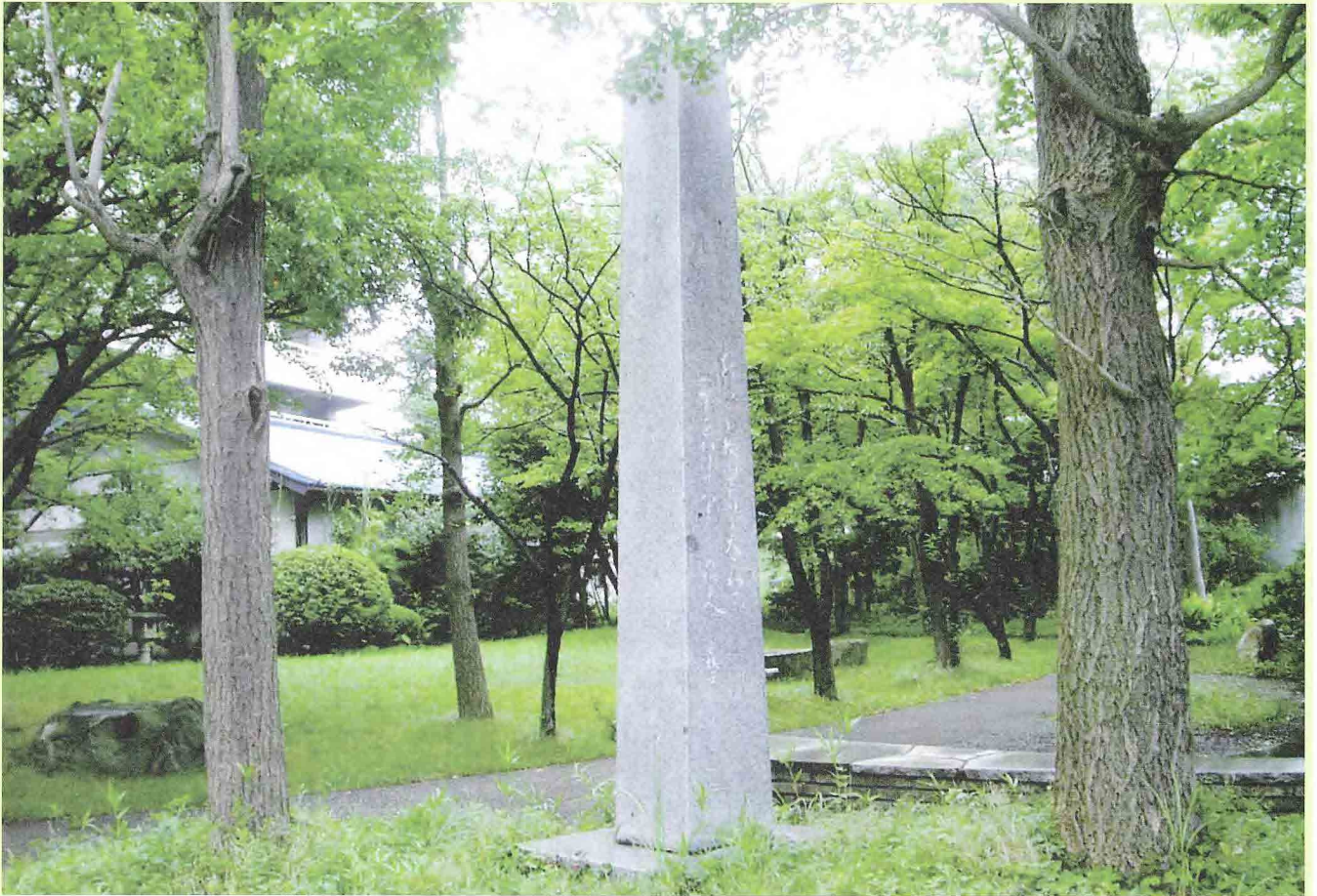


# 和敬會

学祖 松本生太先生 筆

## 和敬会だより

2011.4.19 発刊



### 鎌倉女子大学和敬会

☎247-8511 鎌倉市岩瀬1420 ☎0467-44-2200

# 総会の報告

平成二十二年十月十日 松本講堂

昨日から夜半までの大雨もすっきりと晴れ、  
 〆〆〆相模野の我母校はさわやかな朝をむかえました。  
 前回の「和敬会総会」は、平成十五年十月十日、大船キャンパスでしたが、  
 今回は、六十四年の歴史と思いを重ねた、岩瀬キャンパスで行いました。  
 はれやかなこの日、全国から、思い出を温めながら集いました。

## 和敬会会員の皆さんへ

鎌倉女子大学

理事長 福井 一光

秋日和が深まりつつある頃、  
 和敬会会員の皆さんにおかれましては、ますます  
 ご清栄のことと存じます。

今日一日、久しぶりにゆつくりおくつろぎくだ  
 さい。

お陰様で、鎌倉女子大学は、幼稚部から大学院  
 までの一貫教育の総合学園として、着実な歩みを  
 重ねております。

昨年、国立・私立の名門女子大学25校で組織す  
 る「女子大学連盟」にも加入しましたが、これも、  
 本学の発展の証しとして、お慶び頂けることと思  
 います。

同窓会は、第2世代、第3世代をお送り下さる  
 潜在的入学者の産出母体でもあります。卒業生  
 は、5万余名を数えます。和敬会も、それに相  
 応しい立派な組織として、立派な会長を選出なさ  
 り、いよいよもって成長して下さいることを願っ  
 ています。

平成二十二年十月十日

|         |            |
|---------|------------|
| 総会      | 於 松本講堂     |
|         | 14時～14時50分 |
| 次第      |            |
| 閉会のことば  |            |
| 挨拶      |            |
| 黙禱      |            |
| お祝いのことば |            |
| 新入会員挨拶  |            |
| 議事      |            |
| 校歌斉唱    |            |
| 閉会のことば  |            |



開会

受付

役員候補紹介

議事進行

会計報告

## 「こはふるさと」

その日は感激の一日でした。

早くから来られた方の学生時代に戻ったおしゃべりの場は、14時からの総会をより和やかな場所へと誘ってくれたようでした。

「人間は万物の霊長であります。2本の足で立ち考えて行動できるのであります」と、正直に前向き姿勢で進めと、お導きくださった松本生太先生。「感謝と奉仕の精神」を常にわかり易く話された松本尚先生、物故者黙祷でふとお一人の先生のお顔が浮かびました。

総会では、事業報告や会計報告、会則の一部変更、新役員が満場一致で承認されました。

声高らかに講堂に響く歌声に、つい今しがたまで「校歌は忘れてしまったわ。何十年も歌ったことないもの」なんて誰が言われたのかしら。「をとめらを教ふるといふ大きき命をかけてなさしめたまへ」千枝子先生のお詠を胸に巣立った私たちは「こはふるさと」に帰ってきました。

思いがけないマーチングバンドのプレゼント演奏に、ふと学生時代を思い出し涙ぐむ人。松本講堂ホワイエから見る景色に、緑の校舎も2階建ての本館も西1・2号館もなくなりましたが、立派な校舎や美しい人工芝の校庭に、それぞれの思いを投影されたことでしょう。親子二世代、孫の三世代が会員の方もおられることでしょう。いしづえ永久に動きなし。学園の発展は卒業生である誇りです。

進行 浦川 由美子

根本 恵里

## 新入会員の挨拶

私は、鎌倉女子大学高等部からお世話になりました。

なりまして、鎌倉女子大学児童学部へと進学し、昨年の3月に鎌倉女子大学大学院を修了致しました。川合麻里と申します。本学を卒業してから、卒業生が集い交流することがあることは、とても幸せなことであると、改めて感じております。

在学中は、卒業生である諸先輩方の多方面に亘るご活躍を拝聴し、尊敬の念を抱いておりました。また、先輩方に負けないように頑張らなければ、と奮起したのを憶えております。そして、まだ見ぬ未来の自分の姿を想像し、希望を抱いて学校生活を送っていました。いつも、志を高く持ち様々なことに挑戦する先輩方の姿は、私たち後輩にとって憧れの存在でした。

また、古都鎌倉の地において、今も変わらず格式と伝統ある本学で勉学に励むことができたのも、先輩方が学校の伝統を大切に、積み重ね、受け継いで下さったおかげであると、感謝しております。

現在私は、鎌倉女子大学幼稚部で幼稚園教諭として勤務させていただいておりますが、今後は、伝統ある鎌倉女子大学で学んだことを、子どもたちに伝えてゆきたいと思っております。そして、微力ながら和敬会の一員としてお役に立てるように、尽力していきたいと考えております。

ぜひ、今後とも先輩方から沢山勉強させていただきますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

平成22年卒業 川合 麻里



校歌斉唱



閉会



## ●支部長会を開催しました●

とき 平成22年10月10日  
ところ 岩瀬キャンパス会議室

平成22年10月10日、和敬会総会に先立ち、10時30分から、岩瀬キャンパス本館2階会議室で支部長会議を開催いたしました。  
平成15年に和敬会支部が発足して以来、初めての会合でした。

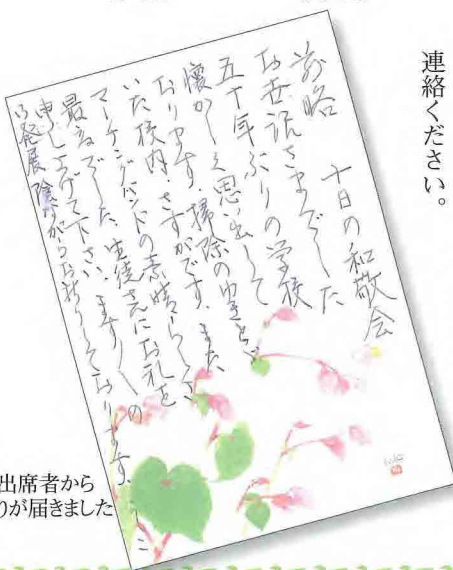
北海道、信越、北陸、関西、中国・四国、九州の6支部の支部長と各支部1名の方に遠方から出席していただきました。(東海支部は支部長が病氣加療中のため欠席)事務局からは、菅原先生はじめ、幹事、校内幹事が出席し、支部の活動状況や在学時代の思い出など語り合い、和やかな雰囲気での会議が進められました。

各支部では、支部長さんを中心に一泊旅行や茶話会、情報交換会など、活発に活動されている様子を報告していただきましたが、地域が広く支部会を開催する地域設定の難しさや、支部会の通知をしても返信がなかったり、住所が変わってしまい支部会報の戻りが多いことなど、会員の把握が難しく、運営する上での苦労もたくさんあるようです。

昭和30年に起きた学寮の火災時の様子、運動会の際の運動場のぞうきんがけ、大雨の後の「京浜湖」、合唱団員として全国大会に出場した事など、在学の時期が離れていても、初対面であっても、誰もが体験した懐かしい話題や、後輩に伝えたい伝統の数々、大船駅の変貌など……。話が弾み全国的な和敬会員のひろがり、層の厚さを心強く感じました。



新会員が増えていない支部もあります。会員登録をされていない方は、お住まいの近くの支部に連絡を取ってください。皆様の参加を心よりお待ちしております。  
また、沖縄、東北支部はただ今準備中のため、東海支部は前述の事情にあります故、入会ご希望の方は、和敬会事務局までご連絡ください。



総会出席者から  
お便りが届きました

## ●中・高等部マーチングバンド部●



## 地方支部に お声をかけてください

——キメの細かい 血の通った

交流をしております——

新任の学校で、タクトの振り方をみて

もしかして〴〵と思いました。

ある地方でのお話でした。思いがけず同

窓生がおられ、心強かったです。と。

卒業年度を越え、中・高・大・短の別も

なく、平和の国の朝ぼらけ〴〵となつかしい

校歌を口ずさみ、語り合い、時には助け合

えるあいだがらす。支部の方々も連絡を

お待ちしております。

時の経つのも忘れて語り合っている会。

時には一泊旅行や情報交換等各支部で思い

思いに企画し、楽しんでいきます。

肩のこらない会合です。

親元や友人と離れ転居した土地で、共通

の話題で、心をいやすのも、就職やこども

のこと、と助けあったり、癒されたりして

おられます。

上記の各支部に該当される方は、支部長

さんに連絡され、皆さんとの交流をあた

めてください。

## フリージア基金

平成22年の「和敬会だより」で、クラス会等の解散の際の残金を本会のフリージア基金としてお受けし、会で有効に使用させていただくこととし、お知らせしました。

今年、左の通り基金が寄せられました。

ご報告します。

●5,000円也

昭和39年 短大家政科卒

この基金にご賛成の節は、この制度をご利用ください。

連絡は、和敬会事務局まで。

☎0467 44 2111

## 支部のおたより

今年九州支部会員の声を紹介します

8年間ありがとうございました

宮崎県宮崎市 武藤 隆子(前支部長)

和敬会九州支部として、1年1回だけの

小さな新聞と、2年に1回の集会をいたしました。

おかげさまで、皆さんとつながりを作る

ことが出来、楽しくさせていただきました。

ありがとうございました。

次期支部長として、金子 真由美さんに

お願いし、承諾していただきました。

これまでの皆さんのご協力を心から感謝

いたします。

## 私の喜び

鹿児島県大島郡 田中 美保子

大学を卒業してはや31年、今でも目を閉

じると岩瀬のキャンパス、そして今はなき

公田寮が鮮明に浮かんできます。

公田寮は構内の寮から横浜より1キロ位

歩き公田団地に向って右へ曲がり小さな木

の橋を渡った横の木造2階建てです。20名

ほどで朝食夕食を当番制で作っていました。

私は、鹿児島の離島沖永良部の出身で

す。親元を離れ大都会に出た私を、寮友、

学友、高齢の山村寮母さんが、厳しく、優

しく導いて下さいました。

短大を卒業して、地元の幼稚園に就職し、

仕事を続けて居ります。

退職したら、一番に大船に行き、大学

時代にタイムスリップする旅にでたいと

思っております。



総会出席の皆さまのために  
ドリルを披露していただきました

## 新役員紹介

会長

金子 小夜美

副会長

望月 一恵 (長島)

幹事

渡辺 和恵

加藤 孝子 (蒲)

鳥井 洋子 (丸橋)

六浦 英美

菊池 貞子 (飯島)

鈴木 公美子 (印南)

森田 里海 (本場)

吉田 美智子 (若林)

最上 千恵子 (加藤)

西海 延江 (若林)

大橋 秀子 (若林)

濱名 哲郎

事務局

菅原 憲子

荻野 須美子 (石井)

平成22年10月10日(日)和敬会総会で  
会長をお引き受けいたしました。  
任期4年を力いっぱい努めていきます。

21世紀は新しい知識・情報・技術が  
あらゆる領域での活動の基盤となり重  
要性を増す知識基盤社会の時代といわ  
れています。周囲とかかわり、様ざま  
な能力を生かし活用しながら情報や思  
いを共有していききたいものです。

金子 小夜美

総会において、次の通り  
会計報告が承認されました。



平成17年度から21年度までの収支は、表  
のとおりです。  
終身会費として在学中に諸般の事情で納  
入頂けなかった金額を未収金として一(マ  
イナス)を付けて表示してあります。  
翌年度になり納入された分は前年度未収  
金として記載しております。  
雑収入として、和敬会会館でのクラス会

開催時に、一人百円を頂いております。  
支出につきましては、平成19年度より会  
計年度を6月開始5月締めと改めました。  
和敬会だよりを4月に発刊している関係で、  
以前は出版費が2年にわたっていました。  
切り替えの18年度の出版費には19年度5月  
分まで含まれております。

## 収支決算書

単位:円

収入の部

| 費目     | 年度        | 17         | 18         | 19         | 20         | 21        |
|--------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 会費     |           | 3,922,500  | 4,226,500  | 5,626,500  | 5,761,000  | 5,453,000 |
| 内訳     | 大学院       |            | 18,000     | 27,000     | 27,000     | 24,000    |
|        | 大学        | 2,397,000  | 2,721,000  | 2,991,000  | 3,231,000  | 3,213,000 |
|        | 短期大学      | 1,623,000  | 1,332,000  | 1,296,000  | 1,251,000  | 1,149,000 |
|        | 高等部       | 616,000    | 768,000    | 1,422,000  | 1,326,000  | 672,000   |
|        | 中等部       | 216,000    | 288,000    | 612,000    | 582,000    | 258,000   |
|        | 初等部       | 335,000    | 380,000    | 515,000    | 555,000    | 137,000   |
|        | 未収金       | -1,264,500 | -1,280,500 | -1,236,500 | -1,211,000 | -372,000  |
| 預金利子   | 2,271,283 | 248,772    | 256,661    | 841,157    | 564,236    |           |
| 雑収入    | 8,100     | 6,900      | 9,150      | 12,320     | 31,715     |           |
| 前年度未収金 | 547,500   | 1,264,500  | 1,280,500  | 1,236,500  | 1,211,000  |           |
| 合計     |           | 6,749,383  | 5,746,672  | 5,892,311  | 6,614,477  | 7,259,951 |

単位:円

支出の部

|              |           |              |           |           |           |           |           |
|--------------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経常部          | 和敬会だより出版費 | 4,156,642    | 7,995,581 | 3,390,773 | 3,780,103 | 3,548,177 |           |
|              | 内訳        | 編集費          | 145,380   | 150,740   | 133,956   | 151,753   | 157,824   |
|              |           | 印刷費          | 2,008,575 | 3,078,839 | 992,700   | 1,309,350 | 1,017,975 |
|              |           | 発送費          | 2,002,687 | 4,766,002 | 2,264,117 | 2,319,000 | 2,372,378 |
|              | 名簿管理費     | 525,450      | 0         | 275,920   | 331,402   | 375,994   |           |
|              | 内訳        | 新卒者名簿<br>入力費 | 525,450   | 0         | 275,920   | 331,402   | 375,994   |
|              |           | 支部費          | 0         | 122,890   | 0         | 0         | 75,040    |
|              | 事務費       | 186,000      | 246,000   | 228,000   | 258,000   | 270,000   |           |
|              | 通信・連絡費    | 47,829       | 56,292    | 35,607    | 87,718    | 57,284    |           |
|              | 設備・備品費    | 0            | 0         | 0         | 0         | 0         |           |
|              | 消耗品費      | 16,031       | 0         | 6,595     | 15,403    | 43,896    |           |
|              | 運営費       | 117,787      | 85,762    | 82,020    | 94,057    | 380,610   |           |
|              | 慶弔費       | 32,400       | 0         | 32,000    | 15,750    | 16,159    |           |
|              | その他       |              |           |           |           |           |           |
|              | 合計        | 5,082,139    | 8,506,525 | 4,050,915 | 4,582,433 | 4,767,151 |           |
| 臨時部          | 和敬会総会経費   | 0            | 0         | 0         | 0         | 468,155   |           |
| 積立金(総会等行事経費) | 1,667,244 | -2,759,853   | 1,841,396 | 2,032,044 | 2,024,645 |           |           |

上記の通り相違ないことを認めます

平成22年10月4日 合計監査

田中 安子 ㊞

河西 恵子 ㊞

# 和 敬 会 会 則

平成10年10月17日改正  
平成22年10月10日改正

第1条 本会は、和敬会と称し、本部を鎌倉市岩瀬1,420学校法人鎌倉女子大学内におく。

第2条 本会は、会員相互の親睦を厚くするとともに、母校と緊密な連携を図り、母校の発展、学風の高揚、学術研究の振興に貢献することを目的とする。

第3条 本会は、本部を学校法人鎌倉女子大学内におき、会員の勤務先、地方に支部を設けることができる。支部に関する規定は、会長の承認を得て、当該支部でこれを定める。

第4条 本会は、次の会員で組織する。

- 1、普通会員 下記各学校卒業者  
京濱女子家政理学専門学校  
京濱女子家政理学専門学校家政専科  
鎌倉女子大学大学院  
鎌倉女子大学  
京浜女子大学  
鎌倉女子大学短期大学部  
京浜女子短期大学  
京浜女子大学短期大学部  
京濱女子家政理学専門学校普通部  
鎌倉女子大学高等部  
京浜女子短期大学附属高等学校  
京浜女子大学高等部  
鎌倉女子大学中等部  
京濱女子家政理学専門学校附属中学校  
京浜女子短期大学附属中学校  
京浜女子大学中等部  
鎌倉女子大学初等部  
京浜女子短期大学附属小学校  
京浜女子大学初等部  
京浜女子大学幼稚園教員養成所  
京浜女子短期大学幼稚園教員養成所
- 2、特別会員 前項各学校の現・旧教職員
- 3、普通会員は、卒業学校別による次の部会に所属する。  
大学部会 専門学校・大学院・大学・短期大学・幼稚園教員養成所 卒業者  
中高等部会 普通部・附属高等学校・高等部・附属中学校・中等部 卒業者  
初等部会 附属小学校・初等部 卒業者

第5条 本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1、会員の氏名・連絡先等の把握
- 2、会員名簿の管理・保管
- 3、会報 和敬会だより の発行
- 4、その他 本会の目的達成に必要な事業

第6条 本会に次の役員をおく。

- 1、会 長 1名 幹事会において普通会員の中から選任
- 2、副会長 2名 幹事会において普通会員の中から選任
- 3、幹 事 10名 大学・短期大学部・高等部・中等部・初等部の卒業生から各部会候補者2名を推薦、幹事会の決議により選任
- 4、校内幹事 普通会員のうち学校法人鎌倉女子大学に勤務する者は、その期間中校内幹事となる
- 5、会 計 幹事、校内幹事のうちから各1名互選により選任

第7条 役員の仕事は、次の通りとする。

- 会長は、会務を総理し、本会を代表する。  
副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。  
幹事、校内幹事は、会長・副会長を補佐し、会運営を行うとともに企画立案にあたる。  
会計は、事務局会計担当を補佐し、本会の会計業務の任にあたる。

第8条 幹事は、前項の目的達成のため随時幹事会を開くことができる。

第9条 役員の仕事は4ヶ年とする。但し再任を妨げない。

第10条 本会に事務局をおく。

事務局に関する規定は、別に定める。

第11条 総会及び幹事会の決議は、出席会員の過半数をもってきめる。

第12条 本会会員は、連絡先・身上に異動があった場合、その都度本部に通知するものとする。

第13条 本会普通会員は、在学中に終身会費を納入するものとする。

第14条 会員で、本会の体面を汚す行為があるときは幹事会の決議を経て、会長がこれを除名することがある。

第15条 本会会則の変更は、総会の決議を経なければならない。

上記の通り、会則の一部の変更が承認されました。

## 訃 報

國 本 翠 先生

児童福祉・養護原理ご担当  
平成二十二年一月十四日 ご逝去

西 井 法子 先生

調理理論・調理実習ご担当  
平成二十二年二月三日 ご逝去

白 石 信尚 先生

生理学ご担当  
平成二十二年三月三十日 ご逝去

塩 澤 榮一 先生

漢文・国語ご担当  
平成二十二年九月三十日 ご逝去

石 渡 英雄 先生

国語・国語科教育法ご担当  
平成二十三年一月一日 ご逝去

横 澤 彪 先生

メディア文化論ご担当  
平成二十三年一月八日 ご逝去

ご冥福をお祈りいたします

## 松本講堂



2010年10月10日 岩瀬キャンパス



## 和敬会会館

総会に先だってクラス会  
どんなに久しぶりでも、顔をあわせれば、  
アッと言う間にタイムスリップ



## 正面玄関

本館と聞いて  
思い出す校舎は…

平成二十三年三月十一日  
東日本大震災  
大きな被害を受けられた 和敬会会員  
の方 たくさんおいでであろうと  
心をいためております  
さぞかし大変な思いをされておいでと  
お見舞いいたします  
どうぞ健康に留意して ご健闘なさい  
ますよう鎌倉の地から念じております



和敬会会館  
松本生太記念学舎



## 岩瀬キャンパス

〒247-8511  
鎌倉市岩瀬1420  
☎0467-44-2200

- 鎌倉女子大学高等部
- 鎌倉女子大学中等部
- 鎌倉女子大学初等部(男女)
- 鎌倉女子大学幼稚部(男女)

## 大船キャンパス

〒247-8512  
鎌倉市大船6-1-3  
☎0467-44-2111

- 鎌倉女子大学
- 大学院
- 児童学研究科
- 家政学部
- 家政保健学科
- 管理栄養学科
- 児童学部
- 児童学科
- 子ども心理学科
- 教育学部
- 教育学科
- 専攻科
- 鎌倉女子大学短期大学部
- 初等教育学科